

社会的課題推進委員会 舞鶴フィールドワーク

概要

日程：2023年8月14日(月)

場所：舞鶴引揚記念館

舞鶴で起こった戦争の歴史を学ぶため、舞鶴引揚記念館に行ってきました。

参加者

近畿大(2)、神高専(1)、ブロック職員(1)、事務局(1)

計2会員5名



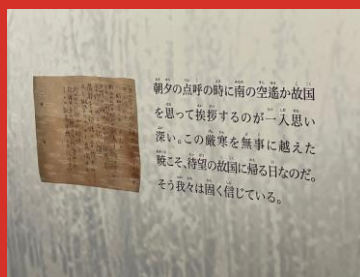
01 戦後も終わらない 苦しみ

引揚について学ぶ

戦後、各国に散らばっていた日本人が本土に戻ってくる『引揚』。舞鶴港はこの舞台になりました。

フィールドワークでは、現地に赴くことで、その歴史、当時そこで何が起きていたのかを学びました。

引揚の中で起きたことを忘れないように、伝えていくことが大切だと学びました。



シベリア抑留や引揚について、深い事実をすることができ、これらは知るべき歴史だと感じました。
(近畿大2年)

02 シベリアで 何があったのか

シベリア抑留生活を体験する

舞鶴引揚記念館では、ユネスコ世界記憶遺産の白樺日記や、ラーゲリーと呼ばれたソ連の収容所を再現した体験スペース、強制労働をさせられた人々が実際に持っていた重さの丸太の展示などがあり、自分たちの目で見て、また体験しながら、その過酷さを感じました。



展望台では、俯瞰する形で、当時どのような作業が行われていたか想像できて、とてもよかったです。
(神高専4年)

03 シャカアカで お待ちしております！

遠くまでフィールドワークお疲れさまでした！

そして、これを読んでいる皆さんへお知らせです！

今回のフィールドワークのもっと詳しい様子や、参加者の学びについては、8月22日(火)のシャカアカ#2で発表予定です。ぜひ聞きに来てくださいね！お楽しみに！



気軽に参加してもらえたら嬉しいです！
(社会的課題推進委員会一同)